

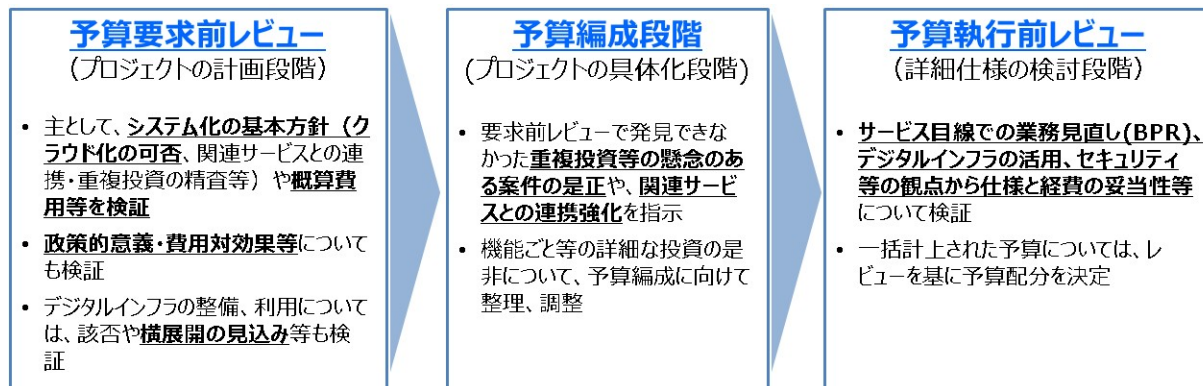
**政府情報システムの予算要求から執行の各段階における
一元的なプロジェクト管理の強化に向けた取組状況について**

令和元年9月3日

年間を通じた一元的なプロジェクト管理に向けた取組状況

取組の方向性

- ✓ 政府CIOの指揮の下、内閣官房IT室が財務省主計局及び総務省行政管理局と連携しつつ、**政府情報システム予算（一般会計＋特別会計）約7000億円を対象に、予算要求前から予算査定段階、予算執行段階まで、年間を通じた一元的なプロジェクト管理を令和元年度（2019年度）から一部開始し、順次拡大。**
- ✓ 事業規模や政策的重要性等の観点から重点的なプロジェクト管理を行う必要があると認められるものは、**政府重点プロジェクト**と位置づけ、**システム担当府省、財務省等も参加するプロジェクトチームを内閣官房IT室に編成。**



※年間を通じた一元的なプロジェクト管理のイメージ

取組状況

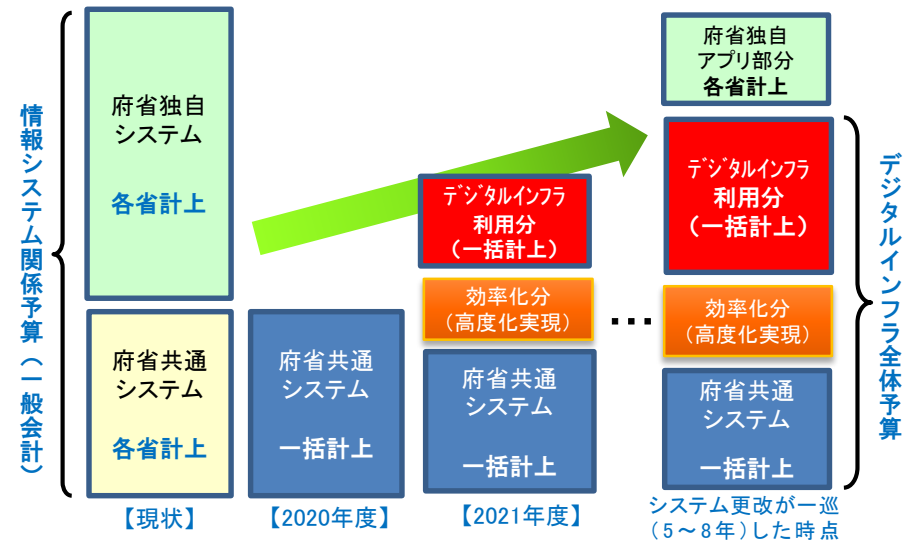
- **政府におけるクラウドサービスの利用促進**を図るという政策的重要性に鑑み、**政府重点プロジェクトの第一弾として、「政府共通プラットフォーム」（主管：総務省）を指定し、年間を通じた一元的なプロジェクト管理を開始。今後も随時、プロジェクトを指定予定。**
- 具体的には、プロジェクトチームにおいて、以下の事項を実施。
 - ・ **各府省におけるクラウドサービスの利用の集約など、政府共通プラットフォームの活用**の推進。
 - ・ **クラウドサービスの利点を最大限発揮**できるよう、**政府横断的に、制度、手続、慣習等を整理、調整及び企画立案。**

政府情報システムの予算・調達一元化に向けた取組状況

取組の方向性

- ✓ 現行の府省共通システムを中心に、政府全体で共通的に利用するシステム、基盤、機能等を「デジタルインフラ」と位置づけ、**デジタルインフラの整備・運用に係る予算は、原則として、内閣官房の下で一括要求・一括計上。**
- ✓ 一括計上の検討対象は、**政府情報システム予算のうち、一般会計約4000億円**であり、**令和2年度（2020年度）予算から一部開始し、順次拡大。**
- ✓ 内閣官房IT総合戦略室が横断的見地から執行に関与し、クラウドを始めとするデジタルインフラの更なる活用、デザインやデータの標準化など、統一感あるデジタル化を実現。

【政府情報システム予算の一括要求・一括計上のイメージ】



取組状況

- **令和2年度予算の概算要求**においては、一括要求・一括計上の開始年として、デジタルインフラに係る予算のうち、内閣官房IT室を司令塔とした一元的な管理に特に馴染む、**複数の府省で共用する情報システムの整備・運用に必要な予算約700億円を内閣官房IT総合戦略室にて一括して要求。**

【一括要求の主な対象システム】※対象システム一覧については、[別紙参照](#)

- ・ 政府共通プラットフォーム
- ・ マイナポータル（情報提供等記録開示システム及びサービス検索・電子申請機能等システム）
- ・ 官庁会計システム
- ・ 人事・給与関係業務情報システム
- ・ 政府共通ネットワーク

- 政府情報システムの効率化、高度化等を図る観点から、引き続き、デジタルインフラの機能等の拡充を図るとともに、一括要求・一括計上の範囲も順次拡大。

(内閣官房)

国家公務員身分証 共通発行管理システム
GSOCシステム

(人事院)

人事・給与関係業務情報システム

(総務省)

統計調査等業務に係る各府省共同利用型システム
政府共通プラットフォーム
一元的な文書管理システム
共通情報検索システム
政府認証基盤
データカタログ
政府情報システム管理データベース
オンライン研修システム
電子政府の総合窓口システム
電子政府利用支援センター
調達総合情報システム
電子調達システム
調達ポータル
情報提供ネットワークシステム
政府共通ネットワーク、電子掲示板システム及び電子文書交換システム

(内閣府)

総合防災情報システム
マイナポータル(情報提供等記録開示システム及びサービス検索・電子申請機能等システム)

(財務省)

国有財産総合情報管理システム
官庁会計システム
歳入金電子納付システム
会計業務電子決裁基盤・証拠書類管理システム
予算編成支援システム

(文部科学省)

府省共通研究開発管理システム

(厚生労働省)

食品衛生申請等システム

(経済産業省)

旅費等内部管理業務共通システム
補助金申請システム
法人共通認証基盤

(国土交通省)

電子契約システム(工事・業務)